

様式

平成25年度 委員会行政視察実施報告書

(視察箇所ごとに作成)

| | |
|------|----------------------------------------------|
| 委員会名 | 総務文教委員会 |
| 参加委員 | 井沢信章 池田総一郎 半田大介 土屋 亮 西沢逸郎 久保田由夫 下村 栄 深井武文 |
| | 委員長、副委員長 |

1 上田市での課題と視察の目的

上田市においても公共施設の老朽化が進み今後の改修について財政的な課題や施設の利用率など総合的な見地から計画することが重要である。そこで藤沢市の「公共施設マネジメント白書」の概要を学び今後の上田市政に生かしたい。

2 実施概要

| | | |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 実施日時 | 視察先 | 神奈川県藤沢市 |
| 平成25年5月20日(月) 10時30分～12時 | 担当部局 | 企画政策課 |
| 視察事業名 | 公共施設マネジメント白書 | |
| 報告内容 | 1. 視察事項について 公共施設の老朽化が進む中で小中学校、市民病院、図書館、公民館等、市民の利用率が高い235施設について「公共施設マネジメント白書」を作成した。その取り組みを視察し成果と課題を検証する。 | |
| 考察 (まとめ:市政に活かせると思われる事項等) | 1. 事業の概要 白書作成の目的 1960年代の高度経済成長期の人口増加や社会環境の変化などに応える形で、教育文化施設やコミュニティ施設など多くの公共施設の整備が行なわれた。 しかしながら整備された施設は建設後すでに30年を経過し、施設の老朽化や設備、機能の陳腐化が指摘されている。 さらに利用者の多様化や環境の変化、人口動態などの要因から利用率が低下するなど課題が山積している。 厳しさの続く財政状況下でNPM(ニュー・パブリック・マネジメント=新たな公共経営)の考え方を施設マネジメントの基本とし施設の現状を積極的に公開するとともに、今後の施設のあり方について幅広い議論を進めることが重要との考えから、その基礎的な資料となる「公共施設マネジメント白書」が作成された。 | |

2. 事業の特色

対象施設

市民センター・小中学校・保育園・地域子供の家・児童館
公民館・図書館・市民病院など235施設

マネジメント白書の特色

減価償却費相当額を加えたコスト計算

施設稼働率

地域別の施設等一覧

地区別公共施設一覧

市内13地区について同様な地域特性を把握する。例えば年齢別の人口が今後20年間でどのように変化するかなど。

3. 市政に活かせると思われる事項

藤沢市では基本的な考え方として施設が老朽化したから単に立替るということはしないという市の方針を示している。

また、建て替えについてはこれまでの単用途ではなく施設の複合化を必須要件とするなどとしていた。このことは上田市でも今後の公共施設整備の参考とするべきであると感じた。

今後の計画として公共施設管理システムを導入し今までの紙ベースとエクセルデータを一元管理することで過去の工事経歴の管理や長期修繕計画を反映したシステムの構築を進めていた。このことも今後の上田市において参考とするべきであると感じた。



様式

平成25年度 委員会行政視察実施報告書

(視察箇所ごとに作成)

| | |
|------|----------------------------------------------|
| 委員会名 | 総務文教委員会 |
| 参加委員 | 井沢信章 池田総一郎 半田大介 土屋 亮 西沢逸郎 久保田由夫 下村 栄 深井武文 |

委員長、副委員長

1 上田市での課題と視察の目的

上田市は、平成18年に1市2町1村が合併して新上田市が誕生した。合併後の翌年平成19年1月に市長が市民会館・美術館・交流広場を兼ね備えた交流・文化施設を約150億円規模で建設する構想を発表した。様々な議論を経て、現在平成26年春竣工、秋にはオープンする予定で建設工事を着実に進められている。総事業規模は約130億円(用地費16億円、建設費104億円、備品購入費などその他10億円)となっている。

担当する総務文教委員会は、この間全国各地の同様の施設を行政視察するなど精力的に調査・研究を進めてきたが、交流・文化施設の建設事業が着実に進捗していることから、今後は開館に向けた準備として、館長をはじめスタッフ等の組織体制や運営管理等の計画策定が急務となっていることを踏まえて、平成25年3月議会において、当初予算に対して付帯決議をあげた。

その内容は、職員体制、ホール部分、ボランティア、美術館事業、駐車場整備など15項目とした。

交流・文化施設の事業は、上田市にとって50年に一度と言われる大事業であり、開館に向けた準備を議会側からも提言していく必要があり、先進地の行政視察等が引き続き必要である。

2 実施概要

| | | |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------|---------------------------|
| 実施日時 | 視察先 | 金沢21世紀美術館 |
| 平成25年5月21日(火) 10時 ~ 12時 | 担当部局 | 金沢21世紀美術館総務課 吉田圭史 課長補佐 |
| 視察事業名 | 先進地行政視察 石川県・金沢市立金沢21世紀美術館 ・施設の概要と運営管理の状況 ・自主事業の取り組み | |

報告内容
考 察
(まとめ:市政に活かせると思われる事項等)

1 市の概要

金沢市は本州のほぼ中心に位置し、明治 22 年(1889 年)の市制施行以来、近隣町村との度重なる編入・合併によって市域を拡大し、平成 8 年(1996 年)には中核市に移行しました。

面積 468.22 平方キロメートル

距離 東西 23.3km 南北 37.3km

人口 462,361 人(平成 25 年 4 月 1 日現在)

2 市の特徴

日本海側気候で、「弁当忘れても傘忘れるな」と言われるくらい雨の多い地域です。春や夏は好天の日が多い反面、冬は曇りや雨の日が多く、積雪もあります。雪化粧した兼六園や長町武家屋敷跡などの風情は、金沢ならではのものです。また、高い湿度は伝統工芸である漆塗りや金箔製造に適しています。

市内には山も海もあり、自然にはとても恵まれています。清らかな犀川や浅野川その他、わき水も多く、水が豊かな町であり、「用水のまち」としても有名です。

一方で県庁所在地として交通網や商工業も発展しており、北陸有数の都市として高い利便性も持ち合わせています。

昔、山芋を掘って売っていた藤五郎という青年がおり、山で芋をほっていると、芋のひげに砂金がついていました。その砂金を洗った泉が「金洗沢(かなあらいざわ)」とよばれ、それが金沢の地名になったといわれています。現在の兼六園の「金城霊沢(きんじょうれいたく)」が、その泉だということです。

金沢は加賀藩前田家の城下町として栄え、加賀友禅や金箔、九谷焼などの伝統工芸や、能楽や加賀万歳などの伝統芸能が受け継がれてきました。

また、五代藩主前田綱紀の時代には、日本中から有名な学者や貴重な書物を集め学問を奨励したことにより、「加賀は天下の書府」であると褒め称えられました。

戦災や大きな災害を免れたため、藩政時代からの美しいまちなみが現在でも多く残っており、金沢市の貴重な財産となっています。

3 視察事項について

金沢 21 世紀美術館

1) 概要と運営管理の状況

立地

金沢城址公園、兼六園に隣接し、中心市街地に近いことから、周辺環境に調和した美術館、まちや市民と一体となった美術館、近現代の多様な表現形式による今日的な美術館をめざした。

なお、この土地は小学校と中学校があったが移転のために、場所ありきからどんな公共施設が必要かの議論からはじめて、美術館建設となった。

美術館の目的と方針

まちと共に成長し、「新しい文化の創造」と新たなまちの賑わいの創出に資する

4つのコンセプト

世界の「現在(いま)」とともに生きる美術館
まちに生き、市民とつくる、参画交流型の美術館
地域の伝統を未来につなげ、世界に開く美術館
子どもたちとともに、成長する美術家

施設の概要

- ・敷地面積 約2万7千㎡
- ・延べ床面積 約1万7千㎡
- ・円の直径 113m 高さ15m 外周 350m
- ・全体事業費 約200億円

(建築費 約113億円、用地費 約78億円ほか)

・建物の特徴

入口が4か所(表と裏がないアートサークル)
入館料がいないフリーゾーンの設置

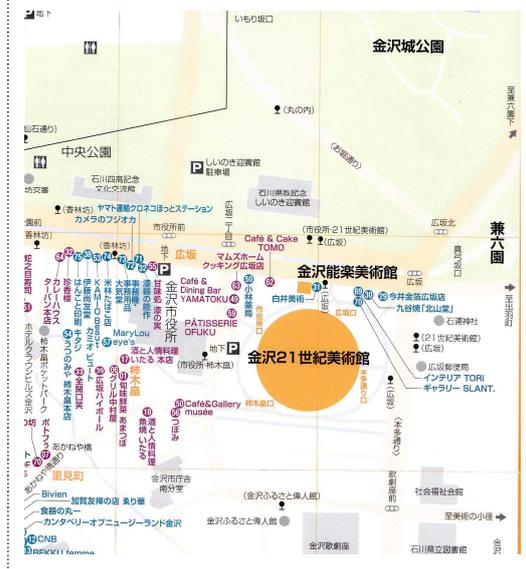
2) 自主事業の取り組み

1 魅力ある展覧会事業

・海外作家等の企画展、コレクション展など学芸員が直接企画している。

2 教育普及活動

・ミュージアム・クルーズなど金沢市立の小学4年生全員に1年かけて来館してもらっている。約4,300人~4,600人ぐらい。
開館以来取り組んできた「ミュージアムクルーズ」や展覧会に関連したワークショップなど教育普及活動も数多く実施し、未来の文化を創出する子どもたちに「開かれた教室」を提供、延べ300校5万



人以上の小中学生が訪れた。(2009年当時)

3 芸術交流事業

・音楽、ダンス、映像、講演などゴールデンウィークなどに開催している。野外展示やイベントを行い一日で2万人をこえたこともあった。

3) 地域との連携

1 周辺商店街との連携

・アート de まちあるき事業など「まちと共存する」ため、地域と連携した企画や「友の会」に代表される利用者サービスにも積極的に取り組み、「アート de まちあるき」事業で同館のサポートショップとして登録されている店舗は片町、香林坊を中心に約200店ある。



(写真のコースターをサポートショップでもらい、入場料が団体割引になるシステム)

2 ミュージアム・グッズの開発

・オリジナル製品の企画、制作、販売など

3 美術工芸大学・卯辰山工芸工房との連携

・卒業作品点の開催など

4) 運営組織

公益財団法人 金沢芸術創造財団に指定管理している。

総数で37人。金沢市からの派遣職員5人あとは財団職員。うち、学芸員資格を持つ職員は、17人ぐらい。

5) 予算

年間予算は、約7億6千万円

<収入>

市の負担 4.4億円、観覧料等2.6億円、助成金や物販0.6億円

<支出>

人件費 2.3億円、施設管理費2.8億円、事業費2.5億円

6) 利用状況

1 来館者数の推移

・平成20年度より年間約150万人、24年度は約147万人。

2 広報件数

・新聞、テレビ、ラジオ、雑誌等の広告件数は年間約1,000件

3 サスティン会員(企業、団体、市民から金沢21世紀美術館の活動に支援をいただくための維持会員<サスティンメンバー>制度)

・92社(平成24年度 77口 385万円 一口5万円)

4 友の会会員

・約2,000人制度の概要は、右のようになっています。年会費3,000円～8,000円特典として「アートdeまちあるき」事業のサポートショップでサービスを1年間何回でも受けられます。など7項目以上あります。

<視察後の感想など>

美術館の目的と方針、4つのコンセプトを具体化するための事業展開をすすめているのがすばらしい。

視察当日、富山県の子どもたちがたくさん来館していたが、県内はもとより近県のこども達の学習の場となっている美術館となっていることが実感できた。

有料部分と無料部分の区分がされており、子どもたちでにぎわう

美術館を初めて見た。敷居を低くして、大勢の皆さんに訪れてもらう姿勢が随所にあった。



Member 21 金沢21世紀美術館 友の会 会員募集中!

金沢21世紀美術館友の会は、金沢21世紀美術館を楽しむための「ファンクラブ」です。
会員になって、アートも「アートdeまちあるき」も毎日楽しもう。

会員の区分と年会費

| 会員区分 | 入会手数料 | 年会費 |
|-----------------------|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メンバー | ウェブ入会 0円 お支払い方法 クレジットカード | 3,000円(1名) (※新入会のみ) 小学生 1,000円 学 生 2,000円 |
| ファミリーメンバー 友達同士のOK! | 来館入会 500円 お支払い方法 現金 | 4,500円～8,000円 (2名～6名) (2名)4,500円 ※ご入会には代表者が1名必要です。 (3名)5,000円 ※会員数はお1人様1枚発行いたします。 (4名)6,000円 ※メンバーは、小学生～大人まで組み合わせ自由、最大6名までです。 (5名)7,000円 (6名)8,000円 |

会員特典

- 「アートdeまちあるき」事業のサポートショップでサービスを1年間何回でも受けられます。
 - 美術館主催展覧会が何度でも入場無料。
 - 会員規定会報誌「NEWSLETTER」のお届け(年3～4回)
 - 友の会スペシャルプログラムにご招待
 - 友の会会員専用ウェブサイトの閲覧
 - ポイントサービス(ポイントを集めて、さまざまな特典に交換することができます)
 - シアター21での美術館主催公演のチケットが10%割引(館内購入に限る)
- この他にも館内ミュージアムショップやカフェレストランでの割引など、さまざまな会員特典をご用意しております。
会員区分によって受けられる会員特典が異なります。
詳細は、お問い合わせください。

ご入会方法

1. ウェブ入会

金沢21世紀美術館ウェブサイトよりお手続きください。
<http://www.kanazawa21.jp/tomonokai>

2. 来館入会

金沢21世紀美術館内事務所(広報室)にて受付いたします。
入会手数料および年会費を添えてお申し込みください。

●受付時間 10:00～18:00(休館日を除く)

※小中学生、学生は、来館入会のみでの受付となります。

入会時に学生証の提示が必要です。

※会員の有効期限は、ご入会日から翌年のご入会日に関する月の末日までです。

[お問い合わせ]

金沢21世紀美術館 友の会

〒920-8509 石川県金沢市広坂1-2-1

Tel. 076-220-2814(広報室) / Fax. 076-220-2802

Mail tomonokai-info@kanazawa21.jp

URL <http://www.kanazawa21.jp/tomonokai>

様式

平成 2 5 年度 委員会行政視察実施報告書

(視察箇所ごとに作成)

| | |
|------|-----------------------------------------------------------|
| 委員会名 | 総務文教委員会 |
| 参加委員 | 井沢信章 池田総一郎 半田大介 土屋 亮 西沢逸郎 久保田由夫 下村 栄 深井武文 委員長、 副委員長 |

1 上田市での課題と視察の目的

災害時における避難者への的確なサポートと避難所における運営のあり方を学び、今後の上田市政に生かすため。

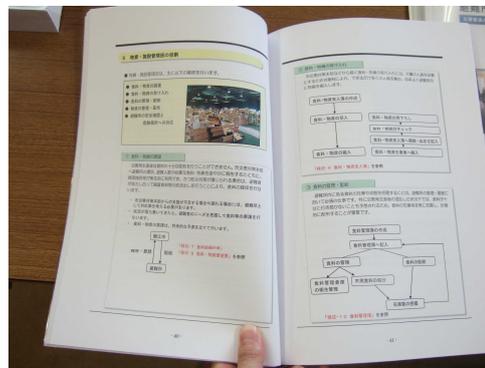
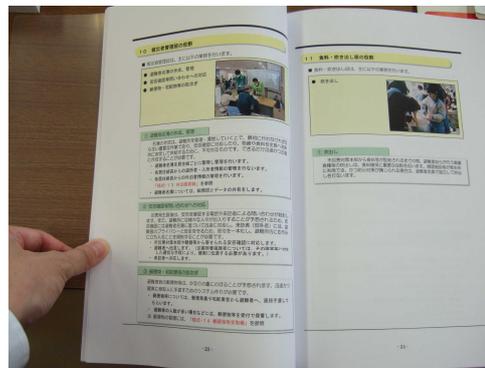
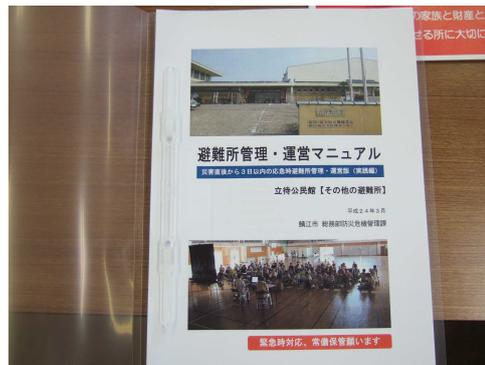
2 実施概要

| | | |
|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 実施日時 | 視 察 先 | 福井県鯖江市 |
| 平成 25 年 5 月 22 日 (水) 10 時 ~ 11 時 30 分 | 担当部局 | 防災危機管理課 |
| 視察事業名 | 災害時サポートガイドブック、避難所管理運営マニュアルの作成 | |
| 報告内容 | 1 . 視察事項について 災害時のサポートガイドブックと防災への取り組み状況について 避難所運営マニュアルの取り組みについて | |
| 考 察 (まとめ : 市政に活かせると思われる事項等) | <p>鯖江市は平成 1 6 年に福井豪雨による大きな被害を受けたことを教訓に、平成 2 4 年 4 月に災害時サポートガイドブックを作成し、2 5 , 0 0 0 全世帯に配付した。</p> <p>ガイドブックは、市内 1 0 地区ごとのガイドブックとしてそれぞれの地区における災害想定に基づき、きめ細やかな予防への心がけ、避難の仕方、逃げ道、逃げ所などが記載されている。</p> <p>サポートガイドブック</p>  | |
| | また、ガイドブックは、洪水、地震、資料の 3 編から構成されており、 | |

また、家族の誰が見てもわかりやすい、絵入りの説明ブックで、ハザードマップのほか、前避難所の一覧、防災にかかわる関係部署一覧、要援護者、高齢者施設の名簿、連絡先の一覧など、また避難所先における運営管理のあり方など詳細なガイドブックとなっている。

避難所管理・運営マニュアルは、災害直後から避難所撤収までの避難所の管理運営についてまとめたマニュアルで、避難所開設の事前準備から、実際の運営体制の整備の仕方等細かく解説されている。

避難所管理・運営マニュアル



上田市も東日本大震災の後、防災計画の見直しを行っているが、鯖江市のガイドブック、避難所管理・運営マニュアルは作成配布の大きな参考になると思われる。